

節政さんから必死にボールを取ろうと追いかける子どもたち



スポーツの楽しさを キッズスポーツ大好き教室

市スポーツ少年団本部(佐藤正義本部長)主催のキッズスポーツ大好き教室は12月20日、北上コンピュータ・アカデミー体育館で開催されました。

市内小学1～3年生50人が参加。元日本代表で、日本バスケットボールリーグの東芝ブレイブサンダースで活躍した節政貴弘さんが、パスやシュートなど実演しながらバスケットボールの魅力伝えていました。節政さんとミニゲームをした植田祐樹君(飯豊小3年)は「シュートが入ってうれしかった」と興奮した表情で話していました。

昔の遊びで交流を深める 楽しい昔体験

緑のふるさと口内教育実践協議会(会長・上野秀雄 口内小学校長)主催のきらめき講座「楽しい昔体験」は12月25日、口内小学校で開催されました。

参加した口内小学校児童22人は、市老人クラブ連合会口内支部の人たちから、年縄づくりやけん玉、バツタ(メンコ)、コマ、おはじきなどの昔の遊びを一緒に楽しみながら教えてもらい、最後に甚句踊りで交流を深めました。参加した佐藤佑樹君(3年)は「バツタが面白い。いっぱいやって疲れた」と満足そうに話していました。



方言かるたを使ったかるた取り。一枚でも多く取ろうと真剣な表情

百歳おめでとございます 三浦タマさん

花園町の三浦タマさんが百歳を迎えられ5日、入所している特別養護老人ホーム敬愛園に市長が訪問し、記念品と祝い状を送りました。

タマさんは明治43年1月5日、本通り生まれ。27歳で故新太郎さんと結婚し、57歳まで教職を務め、子ども5人、孫9人、ひ孫8人に恵まれました。退職後は夫との旅行や合唱など多彩な趣味を楽しみ、ウィーン合唱祭に参加したこともあるそうです。長男の妻三浦良子さん(盛岡市)は「皆さんに助けられ、長生きができました」と感謝していました。

祝福を受ける三浦タマさん(中央)。好物はお菓子だそうです



窯から炭を取り出し出している伊藤達雄君(いわさき小2年)

窯の中は温かいよ 夏油で餅つき・炭焼き体験

岩崎地区自治振興協議会(千田克麿会長)主催の「夏油で餅つき・炭焼き体験」は12月27日、旧岩崎新田小学校で行われました。地域住民や農楽工楽クラブ会員20人が参加し、炭焼き窯での炭焼きや、餅つき、正月飾りづくりなどを楽しみました。炭焼き体験では、同協議会が進める夏油川周辺の環境整備事業の間伐材を使い、2週間前に窯入れしてできた炭を取り出しました。

祖母と参加した高橋夢叶君(5歳)は「面白かった。窯の中はあったかかった」と話していました。

北上の発掘20年を紹介 埋蔵文化財展

第17回埋蔵文化財展「北上の発掘20年」は7日から11日まで、江釣子ショッピングセンター・パルで開かれました。埋蔵文化財センターが行った遺跡発掘調査の成果を紹介。期間中1,144人が来場し、旧石器時代から近・現代にかけての北上地方の暮らしに理解を深めました。資料の一部は2月28日まで市立博物館で延長展示しています(博物館入館料が必要)。

9日には、日本現代詩歌文学館で発掘調査報告会と国立歴史民俗博物館の濱島正士^{はましま}名誉教授による講演が行われました。

埋蔵文化財展で職員の説明を熱心に聞く来場者



沿道の市民が見守る中、消防団によって行われた分列行進

防火・防災への意識新たに 消防出初式

平成22年市消防出初式は11日、さくらホールで消防団、婦人消防協力隊ら約1,000人が出席して開催されました。

式典では、統監の伊藤市長が「地域は自分で守る意識を高めながら、互いに努力し合うことを願う」と祝辞を述べ、赤平道孝消防団長は「いつ起こるか分からない災害。住民に信頼されるよう連帯を図り、取り組んでいきたい」と訓示。式典後には同ホールから新穀町を経由して市役所本庁舎まで分列行進が行われ、防火・防災への意識の啓発を図りました。

心新たに、これからの決意を語った佐藤和貴さん



一人の社会人として心新たに 福祉成人祝賀会

北上市社会福祉協議会主催の福祉成人祝賀会は10日、ホテルシティプラザ北上で開かれました。

療育手帳や身体障害者手帳などを持つ新成人12人とその家族、福祉関係者ら合わせて80人が出席。小笠原祐二同協議会長から「皆さんが地域のために新しいパワーを与えてくれると期待している。未来は自分の力で切り開いて個性を伸ばして歩いてほしい」とお祝いの言葉が贈られました。新成人を代表して佐藤和貴さんが「これまで以上に努力し、一人の社会人として頑張ります」と決意を語りました。

思い思いのひまわりを作る 冬休み親子工作教室

黒沢尻西地区交流センター(小野寺武俊センター長)主催の冬休み親子工作教室「アメリカンフラワーでつくるひまわり」は14日、同交流センターで行われました。黒沢尻西小の親子14人が参加。トウペディップアート協会師範1級の佐々木博子さん(川岸)の指導を受けながら、アクリル樹脂を用いてアメリカンフラワーのひまわりを完成させました。

参加した佐藤聖奈^{せいな}さん(2年)は「楽しかった」と、石川直弥君(5年)は「思っていた以上に面白かった」と笑顔で話していました。



親子で楽しみながら、アメリカンフラワーのひまわりを作成しました